



新型コロナウイルス感染症 変異型検査が変わりました!

令和3年6月16日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和3年第23週分・6月7日～6月13日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

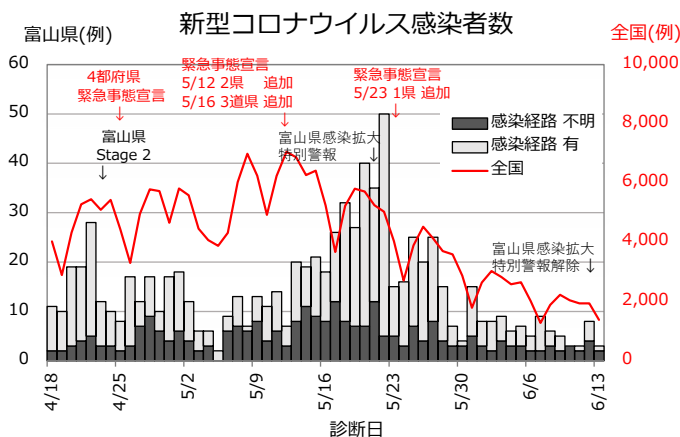
国内の新型コロナウイルス感染者数は、6月13日時点で775,231例となり、14,071例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は減少傾向です。現在、10都道府県における緊急事態宣言が発令中ですが、政府は予定されていた6月20日に解除できるかどうかを判断すると思われま

す。県内の今週の新規感染者数は37例で、6月13日時点の累積感染者数は1,965例になりました(図;棒グラフ)。新規感染者数及び入院者数が減少していることもあり、「富山県感染拡大特別警報」は6月12日に解除されましたが、ステージ2の警戒レベルは継続されています。また、県内各市町村でワクチン接種が進んでいますが、接種後もこれまで通りの感染対策が必要です。

県内の変異株は、新規陽性例のほぼ100%が従来株からN501Y陽性の変異株(ゲノム解析では英国由来のアルファ株*)に置き換わったと考えられます。また、検疫および国内でアルファ株より感染性が高いとされるインド由来の変異株(デルタ株*)による感染例が報告されており、デルタ株が国内で急速に拡散することが懸念されています。このため、衛生研究所での変異株検査は6月8日からN501Y変異検査から、デルタ株を検出するためのL452R変異検査へ変更されました。6月13日時点で県内ではL452R変異は検出されていません。変異株に対しても感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。感染拡大を防ぐため、高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。

発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

*WHO(世界保健機関)による呼称



《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 37件
二類感染症 結核 2件(①70歳代、男性 ②90歳代、男性)
四類感染症 レジオネラ症 1件(60歳代、男性、肺炎型)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	7.66(↑)	6.24
2位	感染性胃腸炎	4.00(↑)	3.72
3位	咽頭結膜熱	0.66(↓)	0.69
4位	突発性発しん	0.52(↑)	0.17
5位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41(↓)	0.83
6位	水痘	0.07(→)	0.07

RSウイルス感染症が全国的に増えています! 3歳未満の幼児に多く、症状は発熱、鼻汁。2~3割は気管支炎、肺炎に進展。生後6ヵ月以内、または基礎疾患があると重症化しやすく、注意が必要です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第23週 令和3年6月7日～令和3年6月13日）

分類	疾患	今週報告分（第23週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1	1	4	3	28		37	98	119	353	65	718	32	1,385
二類感染症	結核			1		1		2	7	3	18	9	17		54
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症										2	1	1		4
四類感染症	E型肝炎								1				1		2
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症			1				1		1	3		1		5
五類感染症	ウイルス性肝炎								2						2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										1	1	1		3
	急性脳炎										1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										1		1		2
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		1		10		12
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	3		12		17
	播種性クリプトコックス症												1		1
	破傷風										1				1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5				5
	RSウイルス感染症	5	5	170	7	35		222	88	102	677	31	680		1,578
		1.25	1.67	21.25	1.75	3.50		7.66							
	咽頭結膜熱	2		11		6		19	21	27	115	2	75		240
		0.50		1.38		0.60		0.66							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	4		6		12	54	31	415	75	177		752
		0.25	0.33	0.50		0.60		0.41							
	感染性胃腸炎	26	14	14	27	35		116	443	220	300	144	649		1,756
		6.50	4.67	1.75	6.75	3.50		4.00							
	水痘			1	1			2	1	6	17	5	22		51
				0.13	0.25			0.07							
	手足口病								2		9	1	5		17
	伝染性紅斑									1	5	1	12		19
	突発性発しん	3	1	3	1	7		15	31	17	82	35	71		236
		0.75	0.33	0.38	0.25	0.70		0.52							
	ヘルパンギーナ					1		1	16				1		17
						0.10		0.03							
流行性耳下腺炎								2	2	5	3	3		15	
流行性角結膜炎									1					1	
細菌性髄膜炎												1		1	
無菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎									1	7	1			9	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）										1	8			9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年5月分）

		5月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症					6	6		1	5		37	43
						1.50	0.60						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1		1	8	10		3	2	2	22	29
			1.00		1.00	2.00	1.00						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ					1	1				1	8	9
						0.25	0.10						
	淋菌感染症							1				3	4
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	2	2	3	8	4	8	10	4	17	43
			1.00	2.00	2.00	3.00	1.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1		4			5	3		9			12
		1.00		4.00			1.00						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。